

優しい気持ちで交通事故ゼロ 筑水高校が花 150 鉢を贈呈

9月18日、筑水高校生物工学科花専攻の生徒11人が善導寺校区の老人会・万寿会に、花の苗150鉢を贈呈しました。21日からの秋の交通安全県民運動を前に、JR善導寺駅前のふれあい花壇と一緒に植えました。今後は、万寿会の皆さんが手入れをします。筑水高校3年生の矢野宝乃華さんは「アメリカンブルーは小さくてかわいい花です。駅を利用する人が見て、少しでも優しい気持ちになってくれたら、きっと交通事故も減ると思います」と話しました。



生徒たちは、交通安全の願いを込めたプレートと苗を丁寧に植えました



注文から商品の受け取りまで、車から降りずに済ませることが出来ます

車の中から注文 初のドライブスルー屋台を開催

9月19日から22日までの4日間、久留米百年公園でドライブスルー屋台が開催されました。入口で検温し注文票をもらい、11店舗の屋台の前を車で通ります。オーダー後はスタッフが車まで商品を届けます。企画した福岡県南部移動商業協同組合の島田和夫理事長は「コロナで地域の祭りやイベントが中止になりました。子どもたちに夏の思い出を作ってあげたかった。半年ぶりの出店にスタッフも楽しんでいきます。また開催したい」と意気込みを語りました。

音楽を感じて自由に絵で表現 久留米シティプラザでキッズプログラム開催

9月21日、22日に久留米シティプラザで「展覧会の絵ワークショップ」が開かれました。中川賢一氏によるピアノの生演奏を聴き、心に浮かんだイメージを絵にします。子どもたちは筆や歯ブラシ、へらなどをを使って、色鮮やかに描いていました。参加した伊藤佳桜さん(原古賀町)は「絵を描くのは好きですが、思ったことを絵にするのは難しかったです。時間ギリギリになったけれど、たくさん道具を使って描いたので楽しかったです」と話しました。描いた絵は、10月25日(日)の「展覧会の絵コンサート」舞台上のスクリーンに投影されます。

画用紙いっぱい想像を膨らませました



念願のグランプリに輝いた「ジャージー牛乳ソフト」

道の駅ソフトに栄冠 ひんやりスイーツ総選挙

九州から関西までを対象とした「道の駅ひんやりスイーツ総選挙2020」で、道の駅くるめの「ジャージー牛乳ソフト」が西日本第1位に輝きました。パフェやソフトクリームなど全131種がエントリー。7月から8月にかけてネット投票が行われました。カフェオーナーの野村勝浩さんは「100%久留米産のジャージー牛乳を使っているコクがあるのに後味がさっぱり。ぜひ多くの人に食べてほしいです」と喜んでいました。

市政の動き

認知症への理解を

NPO法人「にこにこ会」と久留米市は、9月18日、西鉄久留米駅で認知症への理解を呼び掛ける街頭活動を行いました。21日の「世界アルツハイマーデー」を前に、リーフレットを配布。本人や家族への支援の必要性を説明しました。「にこにこ会」の岩坂茂子さんは「誰かとつながることが大切。認知症の人や家族が幸せに暮らす社会になってほしい」と話しました。
◎長寿支援課 ☎0942・30・9207、FAX0942・36・6845



リーフレットは700枚配布。正しい理解と早めの相談を呼び掛けました

厚生労働省「世界アルツハイマーデー」へ
詳しくはQRコード

市HPリニューアル

10月3日(土)に市ホームページがリニューアルします。トップページは、スマホでも見やすいシンプルなデザインに。皆さんが見たい情報へアクセスできるように、サイト内の検索機能を向上させました。引越しや出産などライフスタイルに合った行政情報へリンクするメニューボタンもトップページに準備。見やすさ、探しやすさ、使いやすさを重視しています。
◎広報戦略課 ☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702

市ホームページ「市HPのリニューアル」へ
詳しくはQRコード

市公式フェイスブックやYouTube、ラインへのリンクも可能に

会場にいらなくても、オンラインで質疑応答ができます



コロナ禍の市民活動

9月21日みんくるで、市民活動や絆づくり補助金をテーマに「ゆるめ式円卓会議」が開催されました。コロナ発生の前後で変化した課題や、新しい活動様式など、会場やオンラインで30人が意見交換。翁春仁センター長は「どの団体も創意工夫しながら活動を継続している。再開できずにいる団体のヒントになれば」とあいさつをしました。
◎協働推進課 ☎0942・30・9064、FAX0942・30・9706

市ホームページ「NPO・ボランティア活動(市民活動)」へ
詳しくはQRコード



職員の説明も遠隔の手話通訳者に伝わるので、スムーズに対応できます

遠隔で手話通訳

市は10月15日(木)から、遠隔手話通訳サービスを開始します。スマホやタブレットのビデオ通話アプリで、聴覚に障害がある人と手話通訳者が離れていても相談や手続きができます。利用するにはZoomやLINEのダウンロードが必要。利用したい日の7日前までにメールかファクスで申し込みを。
◎障害者福祉課 ☎0942・30・9035、FAX0942・30・9709、kmsyuwa1@gmail.com

市ホームページ「手話通訳者・要約筆記の派遣」へ
詳しくはQRコード